

競技注意事項

1 本大会は、2026年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則に準じ、全国小学生交流大会開催要項ならびに同競技方法に則るが、児童であることを考慮し教育的配慮のもとに競技を進行する。

2 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは、「補助陸上競技場」で行う。ジャベリックボール投げについては、「第二多目的広場」でのみ行う。
- (2) メイン競技場でのアップは行わない。

3 招集方法について

- (1) 招集所は、第1ゲート出入り口付近（外側）に設ける。
- (2) 招集時刻は下記の通りとする。

		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	1～3組	競技開始時刻の40分前	競技開始時刻の20分前
	4～6組	競技開始時刻の30分前	競技開始時刻の10分前
	7～8組	競技開始時刻の20分前	競技開始時刻
フィールド	全種目	競技開始時刻の45分前	競技開始時刻の30分前

(3) 招集の方法

- ① 競技者は、招集完了時刻10分前まで、招集所内の席で待機し、点呼を受けること。その際、競技者は腰ナンバーカードを右腰に貼り、係員にユニフォームおよびアスリートビブスの確認を受け、合わせてピンの長さ及びシャツ・パンツ等の商標の点検を受ける。
- ② リレー競技に出場するチームは、監督会議終了後9：20までに所定のオーダー用紙を招集所に提出する。決勝においてもオーダーの変更の有無にかかわらず提出する。決勝のオーダー用紙提出は13：20までとする。
(リレーオーダー用紙は出場チームに受付の際に配付する。)
- ※ 友好100mのエントリーは、予選のリレーオーダー用紙に「友好」か「キケン」のいずれかを記載する。(空欄のままにはしない) なお、棄権者が出たことによる友好100mの番組編成は変更せず空きレーンとする。
- ③ 招集完了時刻に遅れた競技者（チーム）は、当該種目を棄権したものとみなし処理するので、十分に注意する。
- ④ 棄権する選手が生じた場合は、当該種目の招集開始時刻まで、招集所に「棄権届」を提出する。
(棄権届は出場チームに受付の際に配付する。)

4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、支給されたアスリートビブスを胸・背に正しく付ける。

5 競技場の使用について

(1) トラック競技出場者の入退場

- ① 競技場へは、招集所から係員の誘導により入場する。
- ② トラック競技は、フィニッシュライン到達後、第1ゲート（第1コーナー）から退場する。
ただし、4×100mRの第1・第4走者は第1ゲート（第1コーナー）から、第2・第3走者は第4ゲート（第4コーナー）からそれぞれ退場する。

(2) フィールド競技者の入退場

- ① 競技場へは、招集所から係員の誘導により入場する。
- ② 競技が終了した競技者は、競技役員の指示により最寄りのゲートから退場する。

6 番組編成について（走路順・試技順）

- (1) 予選におけるトラック競技の走路順、跳躍競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で示す。
- (2) 決勝レーンは、主催者において決定する。走路順は、プログラム記載の速報サイトにて知らせる。
- (3) タイムにより、決勝に進む競技者の決定について

最後の同タイムの者が出た場合は、写真判定の拡大写真により判定するが、それでもなお判定できない場合は、9人で決勝を行う。それ以上になった場合は監督同伴の上、抽選を行う。

7 競技について

(1) トラック競技

- ① スタートの合図はイングリッシュ・コマンドとする。
- ② スタートはクラウチングスタートを原則とする。スターティングブロックは使用しなくても良い。同じ競技者が2回の不正スタートをした時、その競技者を失格とし、オープン参加として走らせる。
- ③ 予選は、タイムレースで行い、上位タイム者8名を決定し、決勝を行う。
- ④ リレー競走におけるテイク・オーバー・ゾーンは基準点から手前20m後ろ10mの合計30mとする。テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
- ⑤ フィニッシュラインは通過後も、自分のレーン（曲走路）にそって走ること。（危険防止のため）
- ⑥ リレーに出場する走者は、男女各2名から編成され、走順は自由とする。選手のユニフォームは、原則として全選手とも同一デザインとする。ユニフォームパンツの下に着用するタイツなどは、全選手が着用しない場合はそれを認められない。ただし、男女による型の違いは認めるものとする。
- ⑦ リレーの第2・3・4走者は、自分たちで準備したマーカーをそれぞれ1カ所だけ使用することができる。ただし、各チームはそのマークを責任を持って撤去する。

(2) フィールド競技

- ① 競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。
- ② 競技場内での公式練習は2回とし、すべて競技役員の指示に従う。
- ③ 競技に出場している競技者以外は、競技場内（トラック・フィールド）に立ち入ることを禁止する。

8 走高跳の試技について

- (1) 走高跳のバーのあげ方は下記の通りとする。変更がある場合は監督会議で連絡する。
 - ・ 練習…女子：85cm 男子：95cm
 - ・ 試技…自己申告した高さ（女子90cm・男子100cm）から開始し、5cm刻みでバーをあげる。
女子110cm・男子120cmからは3cm刻みでバーをあげる。
- (2) 自分で申告した高さから試技を開始し、同じ高さを2回失敗した時点で終了とする。

9 走幅跳びの試技について

- (1) 2回の試技にて実施する。

10 ジャベリックボール投げについて

- (1) ジャベリックボールを使用する。連続による2連投のうち最高記録のみを計測し、順位を決定する。
- (2) 助走はやり投げ用ピットを使用し、2回連続で試技を行う。助走距離は15m以内とする。
- (3) 試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンスローで投げることにする。（羽を持って投げることは禁止）

1.1 コンバインド競技について

- (1) コンバインド競技は、次の順序で実施する。
- 男子コンバインドA : 走高跳 → 80mH
 - 女子コンバインドA : 80mH → 走高跳
 - 男子コンバインドB : 走幅跳 → ジャベリックボール投げ
 - 女子コンバインドB : ジャベリックボール投げ → 走幅跳
- (2) 各種目の得点は「JAAF 小学生コンバインド種目得点表(2022年度改訂)」による。
- ① 80mH、走幅跳における風速は、得点及び順位には影響しない。
 - ② 100点以下の記録は、全て100点とする。
 - ③ スタートまたは試技を行い、参考記録(80mHにおけるオープン参加時の記録)や記録なし、失格の場合は、50点(参加点)とする。
 - ④ 最初の種目で棄権した競技者は、2種目目には出場できない。
 - ⑤ 2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は、同順位とするが、全国大会出場にかかわる1～3位の順位決定に際しては、監督同伴の上、選手の抽選により行う。

1.2 シューズ、スパイクについて

- (1) 競技に際しては、競技に適したシューズまたはスパイクシューズを使用する。
- ・ 危険防止のため、素足での競技は禁止する。
- (2) トラック競技もフィールド競技もシューズ規定に関するルール(第14条・競技用靴)は適用されない。
- (3) スパイクシューズは、競技規則に適合したものであること。
- ・ スパイクのピンの長さは9mm以内、ただし、走高跳は12mm以内とする。なお、スパイクピンの直径は、先端が4mmで、数は、11本以内とする。

1.3 シャツ・パンツ等の商標について

- (1) 選手招集時に商標の点検を行い、規定を逸脱するような商標に関しては必要に応じてマスキングテープ等で隠して出場するようになる。(ガムテープ等は各チームで準備すること。)

1.4 表彰について

- (1) 各種目8位までの入賞者には賞状を授与する。(友好100mは除く)また、各種目3位までの入賞者・チーム(友好100mは除く)にはメダルを授与する。リレー種目に関しては、人数分の賞状を準備する。学校・チーム分についても授与する。
- (2) 各種目1位～3位までの入賞者の表彰は競技が終了し、結果発表後すぐに行う。その際、ユニフォームの着用はせず、Tシャツ・半ズボン等の服装で室内走路入賞者席まで集合すること。また、表彰の際は保護者および監督は正面玄関の外、またはスタンドで待機すること。室内走路での待機は認めない。
- 各種目4位～8位までの入賞者は、室内走路に賞状をとりに来る。

1.5 一般注意事項

- (1) ケガ等による応急処置の必要や、その他健康上の問題が生じた場合は、医務室に連絡する。
- (2) 主催者は、競技場での疾病・傷病等の応急処置は行うが、以後の責任は負わない。
- (3) 貴重品の管理は各自行うこと。盗難にあっても責任を負いかねるので十分注意すること。
- (4) 届けられた遺失物については大会本部で保管する。
- (5) 参加者全員に記録証を交付する。
- (6) 記録はその都度、「福島陸上競技協会」のHPの「大会結果」に掲載する。

16 ウォーミングアップ場の使用について

- (1) ウォーミングアップ場は、「補助陸上競技場」とする。ただし、ジャベリックボール投げについては「第二多目的広場」で行うこと。ウォーミングアップの際は、係員の指示に従うとともに時間を守って各自、事故防止に万全を期す。(別紙監督会議資料参照)
- (2) ウォーミングアップ場内に各自の用具(リズム太鼓、ハードル、スターティングブロック、ラダー、ミニハードル等)を設置しての練習は行わない。
- (3) ウォーミングアップ場には、競技者・監督・コーチのみ立ち入りを許可する。保護者の立ち入りは危険防止および密集防止の観点から認めない

全国大会について

- 下記の基準で選手団を選考する。全国大会に参加する下記選手団の宿泊費、交通費は、主催者が負担する。(ただし、「支援コーチ」については一部自己負担となる。)

種 別	種 目	選 手	役員・指導者等
リ レ ー (1 種 目)	男女混合 4 × 1 0 0 m リレー	6 名	総監督 1 名 指導者 3 名 (支援コーチ 4 名)
単 独 種 目 (8 種 目)	男子 6 年 1 0 0 m	1 名	
	女子 6 年 1 0 0 m	1 名	
	男子 5 年 1 0 0 m	1 名	
	女子 5 年 1 0 0 m	1 名	
	男子 コンバインド A	1 名	
	女子 コンバインド A	1 名	
	男子 コンバインド B	1 名	
	女子 コンバインド B	1 名	
※ 選手団の選考等は福島陸上競技協会常任理事会で行う。		1 4 名	4 名 (8 名)
		1 8 名	(2 2 名)